

## 会長からのメッセージ

# 変化する薬剤師業務における課題

人はなぜ変化を恐れるのでしょうか。変化なくして進歩はありません。世界中で西太平洋地域ほど薬剤師業務に急激な変化が起きている地域はないでしょう。これは、WHO 加盟各国の政府が薬剤師を一次医療の提供者として認識しつつあることによると思われます。

こうした変化に伴う課題は、当団体にも、各薬剤師にも多大なプレッシャーとストレスをかけています。

西太平洋地域における薬剤師業務の将来は、これらの変化にいかとうまく対応できるかにかかっています。西太平洋地域薬学フォーラム ( WPPF : Western Pacific Pharmaceutical Forum ) は、変化への対応を支援できます。WPPF は、10ヶ国の全加盟団体や FIP から世界の情報が集まってくるため、業務の変化に伴う大半の問題を経験しており、実際的な助言や支援が可能です。WPPF が中心となって西太平洋地域の薬剤師業務に関する情報収集・提供を行うことができるため、それだけでも十分存在意義があります。

日本、台湾、韓国及び中国における医薬分業推進とその成功は、西太平洋地域の最も注目すべき大きな変化といえます。今後数年は、薬学教育と生涯学習の

改革が重要になると思われます。ニュージーランドにおける法律改正やマレーシアにおける改正案も、このような変化を反映するものです。

これに対して、フィリピンの薬剤師は医師に調剤権を認めるという問題に直面しています。また、日本では現在薬局でのみ入手可能な一般用医薬品の一部を一般小売店でも販売できるようにするという規制改革の動きに直面しています。

シンガポールやオーストラリアでは法律改正の動きが見られます。一部の国で医薬分業により大きな変化が起こったことを受けて、オーストラリアでは Home Medication Reviews ( HMR ) により、薬剤師業務が変化しつつあります。HMR は、自宅療養する患者を医師が薬局薬剤師に紹介する制度ですが、これは過去 50 年間に於いて薬剤師業務の中でおそらく最大の変革です。医師と薬剤師がより良い医療を目指し、地域でよく協力するという概念は、私達がまさに目標とすることです。この場合、政府も医師と薬剤師の両方に報酬を支払っています。

こうした変化は、WHO が薬剤師を医師・看護師とともに一次医療の提供者として認識したこととあいまって、明るい未来を約束するものです。

薬剤師の役割は重要となっており、進歩を支援できるように直面している変化を前向きにとらえる必要があります。薬剤師及び各団体の将来のために

WPPF は団結し、その調整を図ります。協力を怠って、あるいは、変化を恐れてチャンスを逃してはなりません。ここは世界で最も変動の激しい地域なのです。

オーストラリアにおける薬剤師業務の変化に関する最近のセミナーでは、ある講師が変化を成功に導く戦略について講演しました。

変化に備えましょう。現実を見据え、視野を広くしましょう。

**JOHN WARE, OAM**

WPPF 会長